

効果概要:「倉谷池」では、洪水吐きの流下能力を向上させる工事を実施。令和5年6月の大雨時(55mm/時)に、洪水を安全に流下させ、下流側の農地、住宅等には被害が発生しなかった。

府省庁名:農林水産省

■ 実施主体:和歌山県

■ 対象施設:倉谷池

■ 効果:

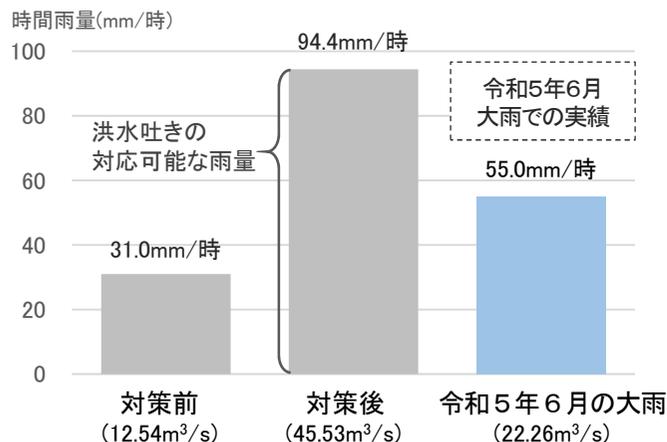
対策前

- 洪水吐きの流下能力が不足しており、大雨時に洪水が堤体を越流すると、ため池が決壊して、下流側の農地、住宅等に被害が生じるおそれがあった。

対策後

- 洪水吐きの流下能力を大幅に強化
- 令和5年6月の大雨時(55mm/時)に被害なし

洪水吐きの流下能力(雨量換算)



■ 対策の概要及び事業費:

- ため池において洪水吐きの流下能力を向上させる工事を実施し、能力を大幅に強化。

事業名	事業費	対策期間
農村地域防災減災事業	1億4,270万円 〔うち洪水吐き部 6,450万円〕	H30~R3
うち5か年対策	1,000万円	R2

対策前

洪水吐き
越流幅 7.0m
流下能力 12.5m³/s



対策後

(55.0mm/時の大雨でも被害なし)

洪水吐き
越流幅 10.3m
流下能力 45.5m³/s (約3.6倍)

防災工事

